

1. PRSP と予算策定の整合性 – 予算配分力学との関係

(1) 戦略と予算の整合性

- ・ タンザニア - PRSP と年度予算の整合性が確保。全ての優先セクターにおいて配分シェア増加+予算増額傾向。
- ・ エチオピア – 政府全体の支出が急増中。全ての優先セクターにおいて予算増額を達成するも、配分シェアに関し、道路セクターは横ばい、保健セクターにおいてはシェア低下。高い農業予算シェア。
- ・ ケニア – PRSP における戦略性不明。ここ近年予算配分シェアはほとんど変化なし。

(2) 予算の裁量余地

- ・ タンザニア – HIPC イニシアティブの恩恵、適正規模の軍事費、国内債務残高、援助モダリティの変容による援助の予測性向上、等により予算の裁量余地は拡大
- ・ エチオピア – タンザニアとほぼ同じ状況。国内債務管理状況はタンザニアよりも上なるも、過大な軍事費は財政管理における不安定要素として残る。人件費の急増。
- ・ ケニア – 「政府の国」といわれるほどの膨大な公務員数 突出した人件費シェア。対外債務のみならず過大な国内債務残高、未払い債務。

(3) 予算配分力学

- ・ ドナーの支援プログラムによる特定セクターへの配分圧力に関し、タンザニア、エチオピアは確認。ケニアはなし。
- ・ 制度的能力に関し、年度予算サイクルに公共支出レビュー(PER)が組み込まれているタンザニア、と独自の予算策定プロセスを続けるエチオピア、ケニア。MTEF はタンザニアも含めて戦略的な予算配分を確保する状態に至っていない。

PRSP と予算策定の整合性 – 予算配分力学との関係

	タンザニア	エチオピア	ケニア
ドナーとの関係	強	強	弱
予算項目(裁量余地)	弱	中	強
国内政治(地方分権)	中	強	強
制度的能力	中	弱	弱

## 2. PFM 改革の戦略性

### (1) 経済運営能力向上の重要性

- ・ 現状は比較的安定的な経済運営を実施(ケニアは国内債務残高の削減が急務)。
- ・ PFM 改革とは上流の経済運営部分よりも下流の支出管理に重点。

### (2) 改革の見通しとドナーとの関係

- ・ 共通するのはコンディショナリティ(外圧)と PFM 改革(内圧)の連携を担保するフレームワーク作り。
- ・ 改革進捗段階は  
タンザニア **Monitoring & Internalization**、  
エチオピア **Implementation & Monitoring**  
ケニア **Assessment**  
と差があり。
- ・ 援助依存度の低いケニア 独立心高いケニアの財務省、計画省には比較的強い経済政策策定部門(独自モデルの活用)。改革の方向性・速度に関するドナーと政府の合意形成状況に他二カ国と比較して差があり。
- ・ IT 過剰重視、頭脳流出による **Capacity balance** の崩れ、

以 上